



Cell-Medicine, Inc.
Sengen 2-1-6 C-B-1, Tsukuba Science City,
Ibaraki 305-0047, Japan
セルメディシン株式会社
〒305-0047 つくば市千現 2-1-6 C-B-1
Tel : 029-828-5591 FAX : 029-828-5592
Homepage : <http://www.aftvac.com/>

自家がんワクチン療法について

自家がんワクチン療法は、術後再発防止、転移予防、残存がん治療を目的としたもので、がん細胞を特異的に攻撃する免疫細胞（細胞傷害性 T リンパ球）を体内で誘導することが可能です。化学療法とは異なり強い副作用がないため、高いQOLを維持できます。すでに肝臓癌では、アカデミックレベルでランダム化比較対照臨床試験を実施しており、術後の再発抑制効果および延命効果があることを、統計学的有意差をもって証明しております（Clinical Cancer Research, 10, 1574-1579, 2004）。

また、治療が大変困難とされている脳腫瘍・多型神経膠芽腫に対しては、12例中CR（完全寛解）1例、PR（部分寛解）1例、MR（一部縮小）2例、NC（不変）1例、PD（進行）7例が確認されており、NC中でもCR例では44ヶ月以上の時点で再発なしとの結果を得ております。消化器癌、乳癌等、その他の癌につきましても、ワクチン単独、放射線、低容量抗癌剤との併用で、転移巣の消失や腫瘍マーカーの減少等の有効性を示唆する症例が多数報告されております。これまで670例以上の投与実績がありますが、副作用として報告されているものは、注射部位の発赤、一過性発熱等となっており、重篤な副作用はありません。

自家がんワクチンは、がん実質組織が1.5～2g以上あれば、ホルマリン固定組織、パラフィン包埋ブロックのどちらからでも作製することができます。また、ワクチン投与（2週間間隔で3回投与）は外来通院が可能で、問診および前後の検査を含めて約7週間の治療期間ですみます。

当社は、独立行政法人・理化学研究所の研究成果を基に、その臨床応用を目的として平成13年に創立されたベンチャー企業です。現在、自家がんワクチン療法については、筑波大学など4大学と臨床研究を推進中です。また、京都・武田病院グループをはじめ、総合病院を含む全国30以上の医療機関で採用されており、そこでは自由診療ベースでがん治療が行われております。

自家がんワクチンに関するご質問がございましたら、お手数ですが当社までご連絡ください。

セルメディシン株式会社
代表取締役社長 大野 忠夫